



技能実習適正化支援センター（TITSC）代表の渡邊です。

人口動向が社会に与える影響は小さくありません。人口が減少する日本の置かれる状況は明るくなく、将来が不安視されます。ゆえに人口データを基礎とした議論が多く展開され、それには説得力があります。なぜなら人口はほぼ正確に将来を予測できると言われるからです。日本の人口は、2008 年の 1 億 2,808 万人をピークに、縮小し続けています。統計局は 2025 年 2 月現在、日本の人口は 1 億 2,354 万人と発表しています。2056 年には 1 億人を割り、その後も人口減少のスピードはすさまじく、いつかは 0 人になる、つまり日本が消滅すると騒がれます。政府は人口減少に対し、子育て支援、地方創成などの取り組みを行っています。そしてその取り組みの一つが、「外国人受入」です。

■ 人口予想が示す外国人労働力の話

私は日頃から頭が良い人とは、難しいことを分かりやすく説明できる人と考えています。ですので、話をするときにはなるべく分かりやすく簡単に理解できるよう話の流れや使う言葉に気を付けます。私が考える頭が良い人には、その他にも一つ条件があります。それは将来の予想ができることです。間違っても良いから、データに基づき将来をある程度想像して、方向を定めてリスクを取っていける人です。この 2 つが頭の良い人の必須条件ではないかと思います。上記のことを踏まえ、頭が少しでも良くなることを目指し、今回は人口予想が示す外国人労働力について迫ってみたいと思います。

我々は将来のことは分かりません。未来を予知する能力があれば、いろいろ便利だと思います。株価の上下が予知できれば、それは分かり易い利益をもたらします。未来を予知することは誰にもできませんが、1 つだけ未来を知ることができるものがあると言われます。それが人口。人口は将来どうなるか、ほぼ間違いなく予測ができます。日本の人口は約 1 億 2 千万人。最近、合計特殊出生率が過去最低を更新したとメディアが発表していました。合計特殊出生率が 2.17 を下回ると人口は縮小していくことが明らかになっています。日本の合計特殊出生率は 0.95。この数字は、日本の人口が縮小していつかなくなることを意味しています。一説によると、3300 年には日本の人口は 0 人という計算になっています。ゆえに外国人労働力の活用という話につながっていきます。

減少する日本人を横目に、在留外国人の数は過去最高を更新し続けています。しかし、日本経済が停滞していることや円安傾向もあり、外国人が日本を魅力的な行き先と思わなくなっていることが指摘されています。外国人労働力を必要とする日本は外国人を引き寄せる必要があることから、受入制度を時代に応じて変化させてきました。研修、技能実習、特定技能、育成就労の制度変遷は、まさに日本の時代を色濃く反映していると思います。

ここで世界に目を向けてみます。世界の総人口は約 80 億人。2025 年には 100 億人に達していると予測されています。人口の増加に伴い、国境を越える人は今後も増える見込みです。したがって、このグローバルな人の移動をいかに管理するかという課題に直面します。世界の国々は外国人労働者に対して 2 極化の対応をしています。つまり、高度人材などの好ましい外国人を積極的に迎え入れつつ、単純労働者などの好ましくない外国人は排除する対応です。日

本も同様に 2 極化政策を採ってきました。そして、育成就労制度の創設など、少しずつ国境を開きつつあります。つまり、外国人に選ばれる日本になるよう制度を調整してきています。

この流れから日本の外国人は今後も増え続けると思います。社会が多様化してくると、日本人のアイデンティティに意識が向く機会が増えます。そうすると多様性の中に伝統的な「日本像」を追い求める人も出てきます。対立が生まれる場面も見られるようになります。このとき、国民に分かりやすく訴えることを優先すると移民に強硬姿勢を示すトランプ政権のような事態になります。しかし、日本の国民性はそれを許さないはずと私は考えています。日本人は、対話と相互理解を重視するはずだと思います。対立が生まれ、アイデンティティが意識されるときへの対応の舵取りが今後は重要です。

■ コラム：失敗は成功のもと

皆さんは過去の失敗や、振り返ると分岐点になったと思うことはありますか。人間は意識していないと、考えがネガティブに進むと言われています。私も失敗ばかりが頭にフラッシュバックのように浮かびます。成功や、楽しかったこと、嬉しかったこともたくさんあったはずなのに、なぜか失敗ばかりが思い起こされます。失敗から学んでいるわけですので、それは必ずしも失敗とは言えないかもしれないし、失敗がない人生に成功はないとも思います。新年度にあたり、学校の先生が「失敗をたくさんしてください。そして失敗を他人のせいにししないでください」と言っていました。失敗をしたとき、自分の中の課題に目を背けると成長はないとの教えだと思います。そのためには、失敗をした自分を受け入れる、欲を言えば「そこがあなたの素敵どころ」と認められることが成長に必要なのではと感じます。

~~~~~

弊センターは、技能実習制度や入管手続きに詳しい行政書士、社労士による外国人技能実習制度を取扱う専門機関です。行政書士の全国ネットワークを活用した体制を整え、監理団体などの申請手続きを支援します。外国語にも対応できます。

弊センターでは監理団体及び実習実施者向けさまざまなサービスを提供しております。

手数料一覧は、弊社ホームページをご覧ください。

- 機構計画認定申請と入管申請
- 建設キャリアアップシステム代行申請、建設特定技能受入計画認定申請
- 外部監査
- その他（法的保護講習、各種労務関係手続き支援、相談、特定技能への移行）

~~~~~

技能実習適正化支援センター（Technical Intern Training Support Center）

代表 渡邊 奉勝

〒248-0023 神奈川県鎌倉市極楽寺 1-6-29

TEL/FAX : 045-8787-290 携帯 : 090-4710-3790

E-mail : info@titisc.org URL : <http://www.titisc.org/>